

## キャンベル・レビューを行うステップを表すフローチャート

---

系統的レビューを行うことに興味のある者(レビューワ)ないし各部会が, レビュー・トピックを設定する

レビューワが, 行いたいレビュー・タイトルとレビュー完了予定期限を, 部会コーディネータに提出する

部会ないし部会コーディネータが, 担当アドバイザー(Principal Advisor)<sup>1</sup>を割当てる

担当アドバイザーの援助を得て, レビューワがレビュープロトコルの下書きを完了する

担当アドバイザー(の率いる編集チーム)が, レビュープロトコルの下書きを審査する<sup>2</sup>

### 担当アドバイザーが, プロトコルを承認し, C2-RIPE に提出する

レビューワが, レビューの下書きを完了, 担当アドバイザーに提出する

担当アドバイザーが, 編集チームの他のメンバーから下書きについてコメント・批判を得る<sup>3</sup>

レビューワが, 編集チームからのフィードバックを得て書直す(このステップは繰り返されうる)

レビューワが, 最終レビューを提出する

### レビューが, C2-RIPEに発表される<sup>4</sup>

多様な読者に合わせ, さまざまなバージョンのレビューが発表される

---

<sup>1</sup> 担当アドバイザーは, 部会が承認する。

<sup>2</sup> この段階において, 担当アドバイザーは, プロトコルの下書きに対して, コメントと批判を行うことを任とする編集チームを設けることを強く要請される。編集チームは, 部会運営委員会, 方法論の研究者, 各分野の専門家などから成る。担当アドバイザーは, 方法論部会のコーディネータないし議長と連絡を取り, 方法論部会のメンバーを編集チームに含める必要がある。

<sup>3</sup> プロトコルの審査のために編集チームが設けられた場合, 同じメンバーがレビューの下書きの審査も担当する。

<sup>4</sup> C2-RIPEの維持及びチェックは, キャンベル共同計画事務局が責任を持つ。